

## 事業概要

モデル事業名	地域参加型学校支援ネットワーク事業 —遅刻ゼロと生活習慣の確立をめざして—	
分類	■一般枠    □震災対応案件	
事業実施主体名	西成区北西部地区学校支援協議会	
実施期間	平成23年12月7日～平成24年3月31日	
支援額	1,111,560円	
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	23年12月7日 午後7時	西成区北西部地区学校支援協議会
	23年12月22日 午前10時	事務局会議
	24年1月16日 午後6時	事務局会議（アンケート中間集約）
	24年1月19日 午前10時	事務局会議
	24年1月25日 午後6時	事務局会議（春休み企画検討）
	24年1月26日 午後6時	事務局会議
	24年2月13日 午後6時	事務局会議（アンケート分析及び学習会）
	24年2月22日 午後7時	西成区北西部地区学校支援協議会
目的・趣旨	西成区北西部の2中学校区（5小学校）における遅刻ゼロをはじめとした日常生活習慣の確立をめざした取り組みを通じて、学校と地域が協働して学力向上と地域教育コミュニティの再生を図ることを目的とし、7校での遅刻をはじめとした「生活実態調査」を行い、地域の団体を活用し、登校支援活動や学習支援活動、非行防止のための巡視活動、長期休業中のこども活動支援等を行いながら、地域住民のスキルアップのための学習会等も行います。	
事業内容	<p>23年12月7日    西成区北西部地区学校支援協議会の開催 事業計画の発表と協力依頼</p> <p>23年12月7日    学校遅刻調査事業の実施（アンケート調査）7校スタート</p> <p>23年12月        学習会の開催（3回）</p> <p style="padding-left: 40px;">※七校区連絡会に加盟している各団体の人たち（地域の人たち）が具体的な学校支援とは何なのか、どのようなことが求められているのかなどを学習し、学校支援参加の入り口を作ります。</p> <p>24年2月        調査結果集約と分析</p> <p>第一回学習会 日時：2月13日（月） 午後6：00 市民交流センターにしなり 内容：遅刻アンケート結果分析及び学習会</p> <p>第二回学習会 日時：未定</p>	

第三回学習会

日時：未定

24年2月 西成区北西部地区学校支援協議会活動リーフ等の作成。  
パンフレット、ボランティア募集チラシ等の作成

24年4月以降の取り組み

①学校支援体制の確立

地域の教育資源である「教育サポート7校区連絡会」構成団体をフルに活用して以下の部門別サポート体制を確立する。

1) 朝の送り出し支援サポーター

集団登校など、みんなで誘い合う体制を学校と協働して確立し、遅刻のないように送り出します。

2) 下校見守り隊

下校時間に合わせて、ポイントごとに子どもの安全を図ります。(町会、高齢者団体に支援依頼)

3) 夜間巡視パトロール隊

地域の祭礼の日のほか、通常時は曜日と時間を定めて巡視活動を行います。(各校区青少年指導員と協働します。)

4) 校庭開放見守り隊

P T Aだけにまかせず、地域の高校生・大学生などが関わります。

5) 放課後学習支援ボランティア

地域の教育財団の講師ボランティアが宿題の復習など日常的な学習支援を行います。

6) 夏、冬、春の長期休業中の「遊び」と「学び」支援ボランティア

すでにノウハウをもつ地域の子ども応援サークルと協働して、高校生・大学生ボランティアを指導者として、「居場所」+「学び」と「遊び」を支援し、日常生活習慣を確立します。子ども祭りの開催(夏、冬)

7) 社会教育サポーター

1 日キャンプなどの体験を通じて「情操」を育みます。地域在住の社会教育主事と協働します。

8) 職場体験サポーター

地域の各事業所の協力で「職場体験」を実施します。(1 部学校でも実施)

以上の事業を進めるために 10 回程度の会議を開催します。